

令和6年度 第1回総合教育会議

次期教育大綱の策定について

令和6年12月17日

市民交流ホールD

概要

長岡市の教育行政を推進するための基本方針として策定した「長岡市教育大綱」（対象期間：令和2年度から令和6年度）が最終年度を迎えるため、次期教育大綱を策定するもの。

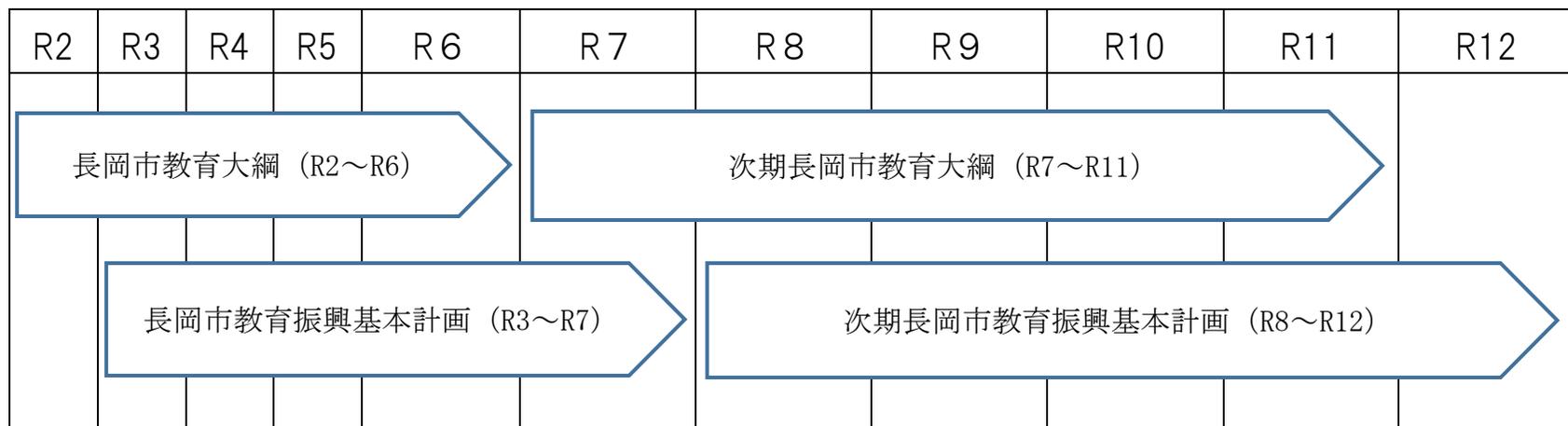
（教育大綱）

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律で策定を義務付け
- 総合教育会議（市長と教育長、教育委員とで構成）※で協議の上、市長が策定
- 「長岡市教育振興基本計画」との連動を図るため、対象期間は5年に設定

※総合教育会議とは

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、市長と教育委員会が教育大綱や重点的に講ずべき施策等について協議を行い、市の教育政策の方向性を共有しながら連携して効果的に教育行政を推進していくための会議。

（教育大綱と教育振興基本計画）



策定スケジュール

- | | |
|----------------------------|---|
| 1 1 月 5 日 | 教育委員会協議会
・教育大綱の見直し案を提示 |
| 1 1 月 1 9 日 | 教育委員会協議会
・教育大綱の見直し案（修正版）を提示 |
| 1 2 月 1 7 日 | 第 1 回総合教育会議
・教育大綱の見直し案を提示
・市長と教育長、教育委員会との意見交換 |
| ○月 | 第 2 回総合教育会議（予定）
・教育大綱の見直し案（修正版）を提示
・教育大綱の決定 |
| 1 月 2 0 日 | 校長会議において新教育大綱を説明 |
| 3 月中旬 | 市議会に対し新教育大綱を説明 |
| ※市議会報告後、市政だより、市のホームページ等で公表 | |

現教育大綱について

○乳幼児期から義務教育終了までの、子育てを含む人づくりを重点に、「子どもたち一人ひとりの個性が輝き、幸せを創り出していける教育の推進」を基本理念に定めている。

■【趣旨】基本理念に込めた思い

一人ひとりの子どもの個性を磨き、可能性を引き出して、自分の幸せだけでなく、他人の幸せも考えて、世のため人のために行動できる子どもを育てる教育を推進する。

○基本方針は、5つのテーマで構成している。

- (1) 地域連携・郷土愛醸成
- (2) 保幼小中連携
- (3) 学力の育成（熱中！感動！夢づくり教育）
- (4) 子育て支援
- (5) 環境整備

○対象期間は、令和2年度から令和6年度の5年間

米百俵のまち長岡 教育大綱

基本理念

**子どもたち一人ひとりの個性が輝き、
幸せを創り出していける教育の推進**

基本方針

- 1 学校と家庭・地域が連携し、総ぐるみでふるさと長岡を愛する子どもを育てる
- 2 乳幼児期から義務教育終了までの子どもに対する教育に一貫して取り組み、一人ひとりを大切にした育ちを支援する
- 3 オール長岡で、子どものやる気や学ぶ意欲を高め、夢を描き志を立てて生き抜く子どもを育てる
- 4 子育て環境を充実させ、子どもや家庭に寄り添ったきめ細かな支援を推進する
- 5 子どもたちが安全・安心で質の高い教育が受けられる教育環境の整備に、タイムリーに取り組む

教育大綱の見直し案

■今回の見直し方針

現行の「個性の尊重」の理念は引き継ぎつつ、今後の時代の変化を見据え、「不易流行」の考えを基調に見直しを行う。

基本理念

見直しの視点	<p>○少子化・人口減少などの社会変化を迎える中、社会全体、オール長岡で子育て・教育に取り組む姿勢を表現した。</p> <p>○誰一人取り残されない持続可能な社会の実現に向け、新たなイノベーションを推進するための方向性を反映した。</p> <p>※イノベーション：他者と協働しながら課題を解決し、新たなものを創り出す行為をいう。</p>
現行	<p>子どもたち一人ひとりの個性が輝き、幸せを創り出していける教育の推進（趣旨）</p> <p>一人ひとりの子どもの個性を磨き、可能性を引き出して、自分の幸せだけでなく他人の幸せも考えて、世のため人のために行動できる子どもを育てる教育を推進する。</p>
改正案	<p>子ども一人ひとりの個性が輝き、幸せな社会を創り出していける教育の推進（趣旨）</p> <p>一人ひとりの個性が尊重され、輝くことのできる社会を創るため、自分の幸せだけでなく、他人の幸せも考えて、世のため人のために協働できる子どもを育てる教育をオール長岡で推進する。</p> <p>※協働：対等の立場で、一つの目的や目標に向かって、それぞれの特性や能力を活かしながら、協力して取り組むこと</p>

オール長岡で進める5つの方針

方針1

テ ー マ	共生社会の実現
見直しの視 点	<p>○「米百俵」の精神を継承し、幾度の困難から立ち上がってきたふるさと長岡への愛着と誇りを育むことは、不易のものである。子どもたちの育ちの順に文章を「知る→育む→語る」にした。</p> <p>○社会の変化とともに、SNS、虐待等が子どもたちの大きな問題となってきた。また、子どもたちの学び方も多様化し、その子に合った学びの場を保障していく。</p> <p>○多様性を認めていくことは今後さらに尊重される。一人ひとりの「違い」ではなく、「自分らしさ」を認め、「相手の素晴らしさ」を尊重してほしいという願いから「個性」という言葉に変えた。</p>
現 行	<p>学校と家庭・地域が連携し、総ぐるみでふるさと長岡を愛する子どもを育てる</p> <p>① ふるさと長岡への愛着と誇りを育み、ふるさとの素晴らしさを理解して語るができる子どもを育てる</p> <p>② いじめ、不登校などの課題への対応を徹底し、安心して通える学校をつくる</p> <p>③ 互いの違いを認め尊重し合いながら、他者と協働できる豊かな人間性を育む</p>
改 正 案	<p>ふるさと長岡に誇りをもち、共に認め支え合う社会の実現に向けた教育を推進する</p> <p>① ふるさとの素晴らしさを知り、愛着と誇りを育み、ふるさと長岡を語るができる子どもを育てる</p> <p>② 不登校や特別支援などの子どもたちを取り巻く様々な課題に対応しつつ、多様な学びの場を保障する</p> <p>③ 互いの個性を認め合いながら、多様性を尊重し他者と協働できる豊かな人間性を育む</p>

方針2

<p>テーマ</p>	<p>育ちと学びの切れ目ない支援</p>
<p>見直しの視点</p>	<p>○従来どおり、保幼小中の教育の一貫性を軸としつつ、発達等配慮が必要な子どもの支援を含んだ上で、「期間」を区切らないことで「切れ目ない支援」を強調した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦「乳幼児期から義務教育終了まで」を削除【基本方針】 <p>○連携チーム体制など長岡独自の保幼小中連携体制を構築してきた。この取組を継続し、園や学校が主体的に</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦「育てたい子どもの姿」について相互理解を図り、さらに発展させていくという意図で、文言を追加した。 ◦「園、学校を中心とした」を追加【項目①】 <p>○健診や園へのアウトリーチ支援等、発達等配慮が必要な子どもを早期に把握し、教育・保育・保健・医療・福祉、行政など関係機関と連携して、適切な支援を実施する新たな体制を構築したため追加した。【項目③】</p>
<p>現行</p>	<p>乳幼児期から義務教育終了までの子どもに対する教育に一貫して取り組み、一人ひとりを大切にした育ちを支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保幼小中の連携と協働により切れ目のない教育を進める ② 保幼小中において、長岡の宝である子どもの個性・特性を大切にし、一人ひとりの可能性を引き出し伸ばす教育を進める
<p>改正案</p>	<p>子ども一人ひとりを大切にした多様な育ちと学びを切れ目なく支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 園、学校を中心とした保幼小中の連携と協働により切れ目ない教育体制を構築する ② 保幼小中において、長岡の宝である子どもの個性・特性を大切にし、一人ひとりの可能性を引き出し伸ばす教育を進める ③ 発達等配慮が必要な子どもに早期に気付き、関係機関が連携して、多様なニーズに対応し適切に支援する

方針3

<p>テーマ</p>	<p>生き抜く力の育成（熱中！感動！夢づくり教育）</p>
<p>見直しの視点</p>	<p>○「生き抜く力を育てる」という言葉には、「不死鳥のまち長岡」らしく、どんな困難も乗り越え前に進んでいくことができる子どもになってほしいという思いを込めた。</p> <p>○子どもの個性・可能性を伸ばすためには、地域の人材を活用した特色ある教育活動や子どもの学びの質の向上に向けた授業イノベーション、温かい学級づくりが欠かせない。つまり、子どもたちにとって、「魅力のある」学校・園づくりが重要である。</p> <p>○子どもたちが、「ドキドキ、わくわく」する興味・関心を高める機会だけでなく、自分のよさや可能性に気付くこと、主体性、粘り強さなど非認知能力を高めていくことができる場を提供するため。</p> <p>○子どもたちの学びは、学校だけにとどまらず、「地域・社会、世界での学び」へ広がりを見せている。地域社会での様々な実体験の他、長岡教育情報プラットフォーム「こめぷら」の活用をとおして、自分の個性や可能性を伸ばしてもらいたい。</p>
<p>現行</p>	<p>オール長岡で、子どものやる気や学ぶ意欲を高め、夢を描き志を立てて生き抜く子どもを育てる</p> <p>① 市民の力を活かしながら、子ども一人ひとりの確かな学びを実現する学校・園づくりの充実を図る</p> <p>② 子どもが本物や一流に触れてドキドキ、わくわくする多様な熱中・感動体験の場を提供する</p> <p>③ 子ども一人ひとりの興味や関心に応じた継続した学びの場を通して、自らの個性や可能性を伸ばす</p>
<p>改正案</p>	<p>子どものやる気や学ぶ意欲を高め、夢を描き志を立てて生き抜く子どもを育てる</p> <p>① 子ども一人ひとりの確かな学びを実現する魅力ある学校・園づくりの充実を図る</p> <p>② 熱中・感動する実体験を大切に、子どもが新たな自分を発見・創造する場を提供する</p> <p>③ 子ども一人ひとりの興味や関心に応じた学校内外の学びを通して、自らの個性や可能性を伸ばす</p>

方針4

テ ー マ	子育て支援
見直しの視 点	<p>○基本方針について、子育て当事者の誰もが、安心して子育てできるように、周囲の人々が支え、当事者はもちろん、これから当事者になる若者たちを含めて、子育てに対する喜びや希望、関心を持てるような子育て政策を展開するという意味を込めた。</p> <p>○ニーズ調査において、子育て期における地域とのつながりの脆弱化が明らかになったこと等から、地域社会全体における子育て支援の必要に着目し、項目を追加した。【項目③】</p>
現 行	<p>子育て環境を充実させ、子どもや家庭に寄り添ったきめ細かな支援を推進する</p> <p>① 一人ひとりの子どもや保護者に寄り添い、多様なニーズに対する支援を行う</p> <p>② 将来を担う子どもたちが、家庭の状況にかかわらず安心して学び、夢と希望を持って成長できるよう支援する</p>
改 正 案	<p>安心して子育てができるよう、みんなで支え、喜びや希望、関心をもてる子育て環境を創る</p> <p>① 一人ひとりの子どもや保護者のニーズに寄り添い、きめ細かに支援する</p> <p>② 未来を担う子どもたちが、家庭の状況にかかわらず安心して学び、夢と希望をもって成長できるよう支援する</p> <p>③ 地域のみんなで子育てを支援する体制を構築する</p>

方針5

テーマ	環境整備
見直しの視点	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の計画的な改修を継続し、保育・教育環境に求められる機能を維持しつつ、時代のニーズに合わせて必要な設備を付加する。 ○学校、家庭、地域が連携し安全管理に取り組み、子どもたちが安全・安心で学べる教育環境の整備に取り組む
現行	<p>子どもたちが安全・安心で質の高い教育が受けられる教育環境の整備に、タイムリーに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 老朽施設の計画的な再生と快適な保育・教育施設の整備を図る ② 学びの可能性を広げるICT環境の整備を図る
改正案	<p>子どもたちに安全・安心で誰もとり残されない質の高い教育環境を提供する</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 施設の計画的な改修により保育・教育施設に求められる機能・性能を維持する ② ICT活用を一層推進し、校務系、学習系データの連携による教育活動の高度化や校務DXを推進する ③ 教員や保育士の心理的安全性を高めるとともに、やりがいをもち、教育や保育に集中できる環境を整備する ④ 学校、家庭、地域が連携し安全管理に取り組み、子どもたちが安全・安心に学べる教育環境の整備に取り組む

(memo)